

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 長岡福祉協会 高齢者ケアセンター こぶし園	代表者	吉井靖子	法人・ 事業所 の特徴	築き上げてきた暮らしを支える。ご利用者の生活・介護（くらし）を支えることを念頭に置き、日常生活の支援を行っています。中重度方でも安心してご自宅での生活が継続できるよう訪問を中心とし通い・宿泊の利用調整を行い援助しております。今まで暮らしてきた生活のスタイルを崩さず要介護状態となってもご自宅で暮らせるように、ご利用者一人一人に寄り添った柔軟な支援をしています。また複合型施設の特徴を生かし、他事業所とのご利用者の交流や地域の方の協力のもとさまざまなアクティビティを取り入れ活動を行っています。
事業所名	小規模多機能型居宅 介護千秋	管理者	大矢泰三		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	3人	1人	1人	1人	1人	0人	2人	0人	10人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	サービス評価の進め方については長岡市からもアドバイスをいただきながら少しでも効率よく行えるよう運営推進委員の皆様と一緒に話し合い、可能な所から変更していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度と実施方法（外部評価の進め方）が変わり、事例検討なども行えてよかった。 ・職員の意識についてはどこの事業所もばらつきはあるが、地域との関わりについてはとくに意識が向けられているように思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が1回でも地域の行事に参加できるとよいのではないかと感じる。 ・自己評価が厳しいと感じる項目もある。 	現場職員のスキルアップと声により反映されやすいよう、可能な限り介護職員においても運営推進会議に出席をする。
B. 事業所のしつらえ・環境	センター内に喫茶スペースを設けるなど今後検討していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・屋内外に椅子とテーブルを設置はしたが活用とまでは至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に立ち寄れる場所ではないと感じる。 →立地条件的に仕方ないがイベント内容などを工夫するとよいのではないかと感じる。 	毎年実施している地域交流イベントについて引き続き皆様から足を運んでいただけるような内容を立案、実施していきたい。また、地域向けの講座やオレンジカフェなどでPRもしていきたい。
C. 事業所と地域のかかわり	各町内に対しこれからも積極的な関りがもてるよう地域にアンテナを向け情報収集に努めるとともに、年間計画にしっかりと位置付けながら運営推進会議の中で報告、評価をしていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度同様に地域行事に積極的に参加されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族は相談しやすいと思うが、地域の方が介護の相談に来るにはどうしたら良いかと工夫する必要があるのでは。→介護事業所に限らず医療機関においても介護の相談に乗れるような仕組みが構築できないか。 ・防災訓練や敬老会などの地域行事を通じ千秋の職員、ご利用者と少しずつ知られてきていると思う。 	介護が必要となる以前から、ちょっとした相談にも応じることができるよう地域に出向いて実施する啓発活動の中でゆっくりと個別相談にも応じる時間を設けていき、また、その機能を医療機関との連携の中でも展開できないか検討したい。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>今後も定期的な運営推進会議及び地域サロン、「まちなね」と称した地域啓発活動を積極的に展開し、参加される住民の皆様から情報提供いただく機会を設ける。また、地域包括支援センターからも情報が得られた場合にも事業所としてどのような支援ができるのか検討し、実施した場合には運営推進会議において報告・評価をしていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事への参加、定期的な啓発活動が実施されている。登録利用者と職員ともにこれからも地域行事に参加できるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民家と離れた場所にあるので、オレンジカフェなどを使ってお茶のみに来てくれる人がいるのかどうか働きかけてみてはどうか。 	<p>近隣事業所が実施しているオレンジカフェに運営側としても何か協力ができないか打診し参加、その中で情報収集を行っていく。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>現在の取り扱い方法などを説明しながら現時点での評価を行う。また、1回の会議で判断することは難しく時間をかけて協議する必要がある、次年度の運営推進会議の中でも計画的に実施していきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は登録者以外の方との関りについて報告だけでなく事例検討がなされ、今後もこのような取り組みがあるとよい。 ・運営推進会議における個人情報取り扱いについては他事業所においても課題を抱えてはいるが、個人が築堤できなければ問題ないものとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからもこの運営推進会議が地域のなかに介護のサポートが必要な方がいるなどの情報共有の場になるとよい。 	<p>次年度以降も登録者以外の方への支援について事例検討をしながら課題抽出・改善に向け運営推進会議において考える機会を設ける。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>寺島町内会同様に、古正寺町内会ともこのような機会を設けられるよう、町内会長を通じて情報収集し参加を計画していきたい。また、災害などの緊急時には千秋を頼っていただけるよう地域に向けた情報発信の機会として次年度以降もお互いの防災訓練への参加を継続して行っていきたい。</p> <p>今年度実施できなかったが運営推進委員だけでなく、地域の皆様から介護だけでなく非常災害時におけるセンターの役割などについて認識していただけるよう、どのような働きかけが必要なのか引き続き防災委員を中心に検討していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は防災設備や備蓄品などの見学会があり勉強になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・寺島地区の防災訓練時に千秋の防災設備などを紹介できる時間を設けたらどうか。 	<p>町内会長や民生委員以外の地域住民にも千秋と地域との非常災害時における連携について情報発信できるよう、地域の防災訓練の中で紹介をさせていただく。その内容や方法については町内会長と相談・検討していく。</p>